

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 10月 23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	新人職員に対して、ケア、日常業務に関する教育、指導を最優先に行い、理念を後回しにしていた。身体介助、シフト業務はこなせるが、私たちの大切にしている事、目指す道を理解させてない為本人中心の視点、心が寄り添えていない。	ホームの主人公は入居者さんであり、本人の視点に立って考え、行動出来るようになる。	全体ミーティングで確認の際、新人職員と先輩職員とで現場での理念実現、意識について話し合う機会を設ける。 上司は新人職員の現場でのかかわりから気づき、理解出来る様適宜話し合いの機会を持つ。	8ヶ月
2	14	職員の行っていることが、真に「本人のための良かれ」なのか？職員にとっての思いこみ、決めつけになっていないか？その見極め、根拠、実際のかかわりについて、個人差が見られ、それが言葉遣いや態度、対応に表れている。	入居者に対して職員の態度、言葉遣いが改められ、レベルの個人差が少なくなり、入居者の不快、不満が減り、安心、心地よく暮らす。	入居者との会話時は目線を合わせる。 受容、共感、傾聴を行い本人に寄り添う。 そのかかわりは、本人本位の視点になっているか？職員同士、ご家族、健康に関して医療との連携を図る。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。